

日本共産党 さいたま市議会議員

松村 としお

生活相談 第1・第3水曜日 午後3時～5時
法律相談 第3水曜日 午後3時～5時
弁護士が相談にのります

無料

お問い合わせ・お申し込み
松村としお事務所 TEL・FAX 874-9666
緑区三室 2713-4

松村としお
ブログ



日本共産党さいたま市議団
さいたま市浦和区常盤6-4-4(さいたま市役所内)

TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
ホームページ <http://www.jcp-saitama.jp/>

新型
コロナ
対策

市立病院 旧病棟の活用いそげ



▲ 緑区革新懇のみなさんとさいたま市の交渉に同席する(左)

新型コロナウイルス感染症対策については、これまでも党市議団としてPCR検査体制拡充と対象拡大、感染者の保護施設確保と医療体制充実を求めてきました。

市民団体である緑区革新懇のみなさんがコロナ対策の強化と少人数学級で学校でのソーシャルディスタンス確保と、子どものケアをていねいに行うことを求める要望署名をさいたま市に提出し、私が立ち会いました。

PCR検査体制については、市中の病院でもだ液での検査ができるよう予算を確保し、市内175か所・うち緑区20か所(9月2日時点)の医療機関が対象となっています。さらに取り組みを強めるよう要望が出されました。

少人数学級については「国のやるべきこと」という対応にとどまったのは問題です。さいたま市でも取り組むよう働きかけを強めます。

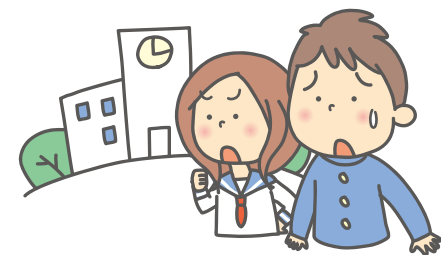
中学校部活動

子どもたちの健康・生活と バランスって

部活動指導のガイドライン(部活動の在り方に関する方針)が定められて2年がたちます。私は3年前の文教委員会でガイドライン制定を求めて以来、部活動の中で子どもたちの健康・生活を守るよう、繰り返し議会で求めてきました。

ガイドライン制定後も、長時間の活動や指導者によるハラスメントについて相談や情報が寄せられています。私は決算委員会でガイドラインが校長など管理職や顧問に十分理解されていない現状を指摘し、改善を求めました。教育委員会は「校長会、研修会等で周知したい」と答弁。私は「厳にお願いします」と念を押しました。

また部活動指導員など正規のルート外の外部指導者も70人を超えている実態が私の質問で明らかになりました。こうした外部指導者もガイドラインの対象であることが確認されたものの、ガイドラインの内容を指導者に伝えるシステムがなく、「研究する」との答弁にとどまりました。



引き続き追及していきます。

また、部活動中の事故で最も多いのが熱中症で、救急搬送の3分の1をしめることも明らかにしました。私は「子どもの命を最優先に」と強調し、対応の改善を求めました。



子育ての負担を軽く！

通信料は自己負担でなく市の責任で

さいたま市はWi-Fi環境のない家庭へ無料でルーター貸し出しをします。しかし利用する家庭が経済的に厳しくても通信料は自己負担です。市の責任で負担するよう求めました。

外国人学校に通う子どもへの 支援充実を求める

さいたま市は外国人学校児童生徒保護者補助金制度について近隣市がやっていない所得制限を行っています。所得制限をやめ、補助金額を引き上げるよう求めました。



住みよい緑区へ

「市道でありながら、不適切な管理になっているから改善してほしい」という要望が複数寄せられました。声を届けて1つずつ改善!!

▼ 草木が茂った市道(三室)



▼ ガレキでふさがれた市道(大崎)



改善求めて要望中。
まちづくりで気になることが
あればお気軽にお寄せください。